

地盤環境解析学研究室

前回ご報告しました令和7年度から本研究室のスタッフ構成に変わりはなく、石川達也教授、磯部公一准教授、横濱勝司助教の3名体制で運営しております。学生は、博士後期課程5名（留学生5名）、修士課程11名（留学生4名）、学部生8名の計24名が在籍し、博士後期課程、留学生の数が多く傾向が続いています。留学生の出身国は、中国、韓国、パキスタン、インドネシアなどのアジア圏が多い状況です。

本研究室では、凍上・凍結融解作用を受ける寒冷地地盤の災害発生メカニズムの解明、交通荷重作用下の不飽和路床路盤材の力学特性の把握、土・水マルチフィジックス解析の高度化、地盤と構造物・基礎の地震時相互作用の評価、様々な地盤災害の広域危険度評価へのAI技術の活用、環境地盤材料の力学特性の把握と実務、コジェネレーションへの応用などの研究を主に進めています。

令和7年度には、磯部公一准教授の指導の下、1名の留学生が博士の学位を授与されました。また、2名の学生が、令和7年度地盤工学会北海道支部賞（学生部門）と令和7年度土木学会北海道支部奨励賞受賞を受賞しました。

詳細な研究内容、研究業績および研究室内の近況は、随時、

研究室HP (<https://www.eng.hokudai.ac.jp/labo/geomech/>) で紹介していますので、是非ご覧ください。

諸先輩方のご健勝とご活躍をお祈りいたしますとともに、皆様のご来室を心よりお待ちしております。